

鉱山保安情報 (平成27年4月1日号)

第12次計画の3年目が始まりました！

平成27年度の目標(全国)

すべての鉱山で「死亡災害の撲滅」を！

具体的な数値目標: 度数率: 0.84以下(全国のり災者18名以下に相当)

強度率: 0.18以下(全国の損失日数3,950日以下に相当、死亡は7,500日)

取組のポイント



死亡災害を起こさせないため、

以下の点について重点的に取組みましょう！

◇ リスクアセスメントの徹底による重篤な災害の撲滅

→リスク評価の徹底と、リスク低減対策の優先順位付けによって、重篤な災害の可能性から順に無くしていきましょう。

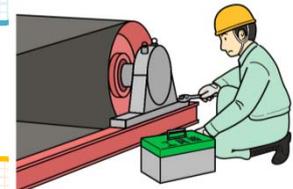
◇ 鉱山保安マネジメントシステムの構築・有効化の更なる推進

→鉱山保安MSの特長は「継続的改善」です。更に推進することによって保安レベルを向上させましょう。

昨年度報告の多かった

➢ 墜落災害、巻き込まれ災害、発破飛石災害の防止を重点事項として推進！

既に災害が起きています！



- ・平成27暦年のり災者数は4名(転倒、BC巻き込まれ他、3月末時点)。
- ・地面でバウンドした発破飛石が待避者の顔面に当たる不休災害も！



高所では安全帯を確実に装着して作業を行いましょう！

～思いも寄らずバランスを崩すことがあります～



近づく前にまず停止！回転体に手を出さない！

～「自分は大丈夫だろう」という思い込みは非常に危険です～



発破箇所や岩盤状況等に応じ、飛石に十分留意しましょう！

～適切な発破設計と十分な待避措置等を講じることが重要です～